

授業科目名・形態	成人看護学概論 講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	水木 暢子	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

現代を生きる成人の生活を多角的にとらえ、成人期の対象の特性及び多様な健康問題について理解を深める。成人期の生活に直結した生活習慣・職業・ストレス等に関連した健康問題を取り上げ、現代人のライフスタイルの特徴と照らし合わせて検討する。また成人期にある人を対象とした看護の基盤となる考え方や理論と援助方法の基本を学ぶ。

【到達目標】

- 1) 成人期の対象の特徴と現代社会におけるライフスタイルに関連した健康への影響について理解する。
- 2) 成人期の健康問題の特徴、特に生活習慣病・職業性疾病・ストレスとの関連を理解する。
- 3) 成人看護学の基本となる代表的な理論や基本となる方法論について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 成人看護の対象の理解
- 第2回 成人への看護アプローチの基本
- 第3回 行動変容、行動強化に関する理論を用いた演習
- 第4回 慢性病をもつ人への看護方法
- 第5回 成人の生活と健康問題①
がん予防と生活習慣
- 第6回 成人の生活と健康問題②
労働、ストレス、生活習慣と成人期の健康問題
- 第7回 健康の急激な破綻からの回復を促す看護方法
- 第8回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行います。

【授業準備】

毎回授業終了後に、次回授業のレジュメや資料を配布し、予習すべき内容を提示します。必ず事前学習により授業の内容を確認して臨み、課題提出については期限をしっかりと守ってください。

【主な関連する科目】

看護学概論、エイジング論、成人看護方法論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

【教科書等】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院

【参考文献】

成人看護学概論第3版 スーヴェルヒロカワ
ナーシング・グラフィカ第4版 成人看護学① 成人看護学概論 メディカ出版

【成績評価方法】

筆記試験 80%、提出物・受講態度・グループ討議への参加態度 20%で評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護師として業務に就き、そこで経験した看護実践をもとに成人看護学の基礎的な知識、技能を教授する。

【学生へのメッセージ】

この科目で学んだ理論や方法論が、2年次以降の成人看護方法論を学ぶための基礎になります。